

平成31年度に向けた重点的取り組み施策の一覧

目標	基本方針	施策の方向	施策の内容	施策の詳細	評価	
目標1 環境・人にやさしい交通	方針1 自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備	バス交通等の利便性向上	バス路線の充実	バス路線の再編成など	B	
			コミュニティバス・かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進	ジャンボタクシーの路線の見直し、バスロケーションシステムなど	B	
			バス運行情報の提供（バスロケーションシステム）	柏駅東口デジタルサイネージを活用した情報発信	A	
			バスのバリアフリー化	ノンステップバスの導入他 バス停における待合環境整備他	A C	
		乗り継ぎの円滑化	駅前広場の整備	JR北柏駅北口	C	
				東武鉄道高柳駅	A	
			JR柏駅西口	C		
		駅アクセスの向上	JR柏駅東口休日バス乗り入れ事業	A		
			東武鉄道高柳駅 東西自由通路整備	C		
		鉄道の利便性向上	駅舎の改良	JR柏駅	C	
				東武鉄道 高柳駅	C	
				駅施設内におけるエスカレーター・エレベーター整備	A	
		駅のバリアフリー化	駅周辺の踏切道の拡幅他	C		
			駅の案内表示	駅周辺の公共施設等への案内表示他	C	
		タクシーの利便性向上	タクシー乗り場の改善	柏駅東口タクシー乗り場	C	
			タクシー事業の活性化	EVタクシー等の導入、デマンドタクシーの普及	C	
環境負荷の低減	自動車交通量の削減	パーク&ライド、カーシェアリングの実施	A			
	クリーンエネルギー技術の活用	CNG並びにハイブリッド車の導入促進	A			
方針2 物流システムの適正化・効率化の推進	端末物流対策	路上荷捌き帯の対策	柏駅東西出口周辺	C		
目標2 豊かな暮らしを支える安全で安心な交通	方針3 良好な歩行者・自転車環境が確保された歩いて暮らせるまちの創出	歩行者環境の向上	歩道のバリアフリー	バリアフリー化の促進	B	
		自転車利用環境の向上	自転車利用環境の整備 ルールの周知徹底、マナーの向上	自転車総合計画の策定並びに通行空間の整備 交通安全教室等の開催	B B	
	方針4 優先順位の評価による効率的な道路整備	効率的・効果的な道路整備の推進	都市計画道路の整備プログラム策定	プログラムの策定	A	
			渋滞交差点の解消対策	交差点改良工事他	C	
		広域ネットワークを支える道路整備	千葉柏道路の整備	建設促進に係る各種要望活動の実施	C	
			大規模開発地区に伴う道路整備	大型店建設に伴う左折レーン等の整備	A	
	目標3 まちの魅力を高め交流を促進させる交通	方針5 都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸の形成	幹線公共交通軸の強化	バス機能強化	柏駅⇄柏の葉キャンパス駅を中心とした公共交通軸強化	C
				P T P Sの拡充	南柏⇄酒井根並びに柏駅⇄沼南方面のバス路線への導入	C
広域輸送力の増強			常磐線の東京駅乗り入れ	上野東京ライン開通	A	
			常磐線、成田線、東武野田線の輸送力増強		B	
			つくばエクスプレス、地下鉄11号線の延伸	つくばエクスプレスの東京駅延伸	C	
			高速バス路線の活用	圏央道経由による柏駅～柏の葉～成田空港へのバス路線開設	B	
新しい交通システムの可能性検討		新しい交通システム	デマンド交通、LRT&BRT、エコライド他	B		
方針6 中心市街地の活性化を支援する交通施策の推進		回遊性のある歩行環境の整備	中心市街地活性化事業の展開	柏駅東口D街区の再開発、柏駅周辺まちづくり10ヵ年計画	B	
			柏駅東口ダブルデッキの改修		A	
		駐車場の有効活用	駐車場整備計画の見直し		B	
	駐車場案内誘導システムの検討		まち情報アプリの試験的配信他	C		
目標4 市民等の協働により支えあう交通	方針7 民・産・学・公の連携による交通政策の推進	次世代型環境都市モデルの展開	I T S実証実験モデル都市	ITS世界会議東京大会時におけるテクニカルビジットの実施	B	
			地域 I C T利活用モデル事業	マルチ交通シェアリング、かしわスマートサイクルの実施	A	
		市民等との協働体制づくり	モビリティマネジメントの実施	バスマップの作成、配布	B	
	交通に関する情報の提供		ツイッターによる情報発信、国道16号ライブカメラなど	B		
方針8 市民等の協働による交通政策の推進	施策の進行管理	P D C Aサイクルに基づく進行管理	施策ごとの内部評価他	A		

総合交通計画策定時に位置づけた重点的取り組み施策

施策の中間評価を元に平成31年度にかけて重点的に取り組む施策